

2013（平成25年） 川南町ハザードマップ

凡 例
避難所
避難地
消防組合・分遣所
病院
地すべり危険箇所
土石流危険渓流
急傾斜地崩壊危険箇所
土砂災害特別警戒区域（土砂災害警戒区域）
土砂災害警戒区域（イエローゾーン）
市町村界
高速自動車道
国道
主要地方道
県道
標 高 色
0～5m
5～10m
10～15m
15～20m
川南町公民館 48.3m 1施設名 1標高

※地図上の標高は、国土院発行の2万5千分の1地形図上に表示したものであり、実際とは誤差を生じる場合があります。

土石流危険渓流

- 渓流の勾配が急である。
- 渓流に大きな石がごろごろしている。
- たくさんの土砂が堆積している。
- 上流が山崩れなどで荒れている。
- 過去に土石流があった。



地すべり危険箇所

- 過去に地すべりがあったところ、今も少しずつ動いている。
- わき水や地下水が豊富である。
- 過去に山崩れがあった。
- 断層があるところやもろく崩れやすい岩石がある。
- 火山作用あるいは温泉の作用で粘土化した土がある。



急傾斜地崩壊危険箇所

- 山の傾斜に亀裂やわき水がある。
- 岩石がもろく崩れやすい地質である。
- 過去に山崩れがあった。
- 山崩れがあった場所に隣り合っている。
- 急斜面で、軟弱な地盤がある。
- 水の集まりやすい斜面地形である。
- ときどき落石がある。



土砂災害対策

土砂災害の発生時には、こんな現象が起こることもあります。

雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。



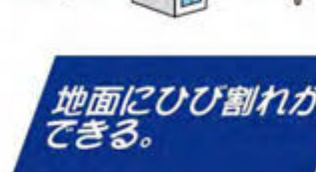
斜面から水が噴き出す。



川の流が濁り、流水が滞り始める。



山鳴りがする。



地面にひび割れができる。

沢や井戸の水が濁る。



小石がバラバラ落ちてくる。



災害用伝言サービス

災害用伝言ダイヤル(171)

災害用伝言ダイヤルとは、大規模災害（震度6弱以上の地震等）が発生した際に、家族等の安否確認を行うためのシステムです。大規模災害時は、電話回線が非常に混み合い、なかなか連絡が取れない状況に陥ります。そんな時、この災害用伝言ダイヤル「171」を利用し、自分の安否を伝言として残し、遠くに住む家族等がその伝言を聞いて安否確認を行えます。詳しくは、上記災害用伝言ダイヤル(171)をクリックしてください。

緊急通報メール

NTTドコモ、au、ソフトバンクなどで、気象庁が配信する「緊急地震速報」や「津波警報」、国・地方公共団体が配信する「災害・避難情報」などを、配信するサービスを行っています。詳しくは各携帯会社にお問い合わせ下さい。

災害用伝言板

左記の災害用伝言ダイヤルと同様、大規模災害時の電波の混み合った状況に陥った場合、パソコンや携帯電話を使用し、安否情報を伝言板で共有するシステムです。災害が発生すると、安否確認や消防、警察等への連絡が一斉に電話を使用するために、通信が集中し電話が大変な状況になります。このため、自分の無事を連絡したり、家族や親戚、知人等の安否を一刻も早く確認したくても、なかなか連絡がつかないという状況が生じます。こうした状況を解消するため、NTTドコモグループ、au、KDDIグループ、ソフトバンクモバイル、ウィルコムにおいて、被災地域にいる方が自身の安否情報を伝えることのできる「災害用伝言板サービス」を提供しています。災害用伝言板には、下記の種類があります。

○災害用プロキシド付伝言板（web171） ○ケータイ災害用伝言板（ソフトバンク）
○ケータイ災害用伝言板（NTTドコモ） ○ケータイ災害用伝言板（イー・モバイル）
○ケータイ災害用伝言板（au） ○ケータイ災害用伝言板（ワイコム）

※災害用伝言サービスのお問合せはこちらまで。
TCA 社団法人 電気通信事業者協会

避難所施設

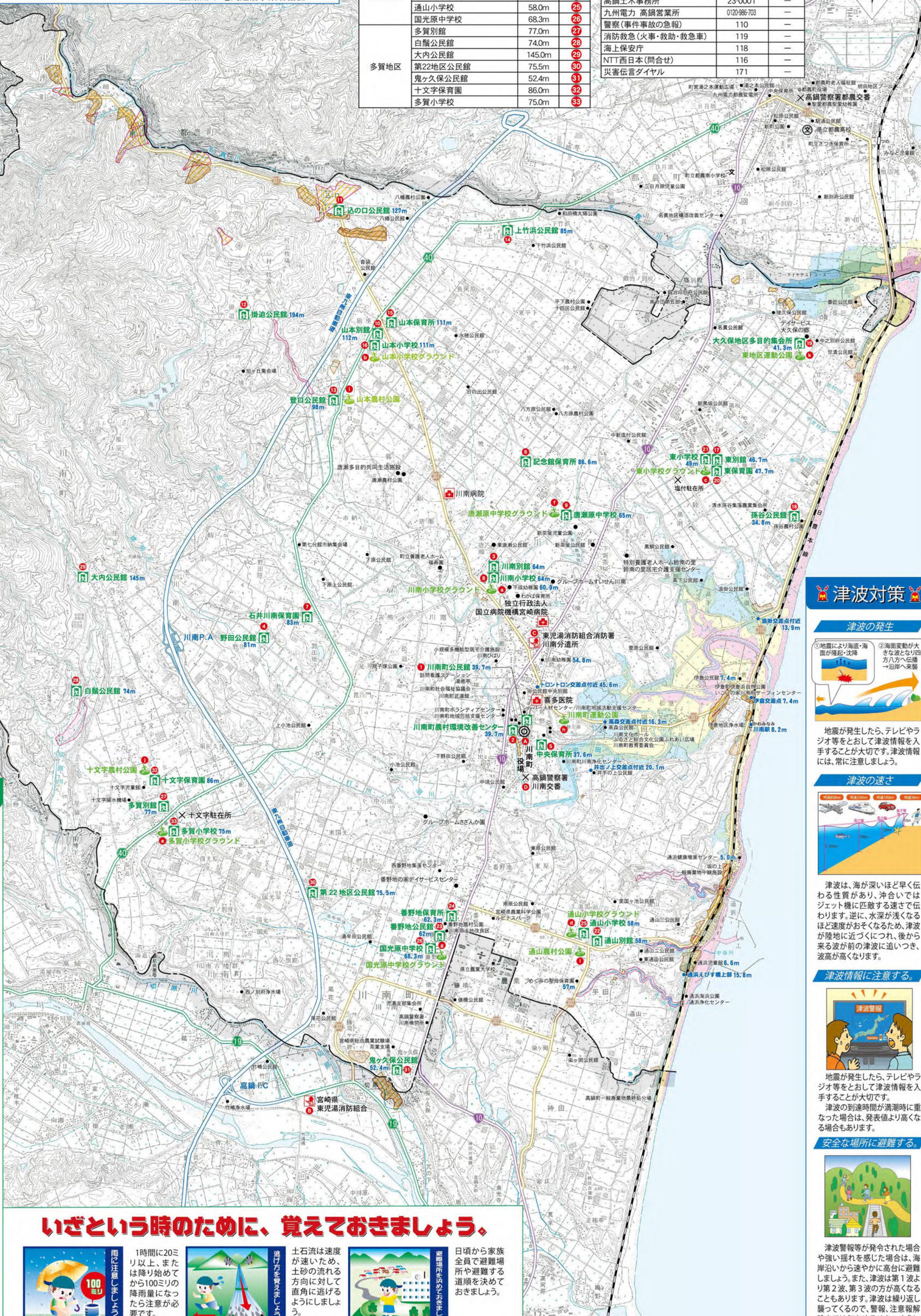
地区	避難施設名	標高	番号
川南地区	川南町公民館	39.7m	1
	川南町農村環境改善センター	39.7m	2
	川南別館	64.0m	3
	野田公民館	81.0m	4
	中央保育所	37.6m	5
	記念館保育所	86.6m	6
	石井川南保育園	83.0m	7
	川南小学校	64.0m	8
	唐瀬原中学校	65.0m	9
	山本別館	112.0m	10
山本地区	込の口公民館	127.0m	11
	掛迫公民館	194.0m	12
	登口公民館	98.0m	13
	上竹浜公民館	85.0m	14
	山本保育所	111.0m	15
	山本小学校	111.0m	16
	東別館	46.7m	17
	孫谷公民館	34.8m	18
	大久保地区多目的集会所	41.3m	19
	東保育園	47.7m	20
通山地区	通山別館	58.0m	21
	番野地公民館	62.0m	22
	番野地保育所	62.3m	23
	通山小学校	58.0m	24
	国光原中学校	68.3m	25
	多賀別館	77.0m	26
	白鷺公民館	74.0m	27
	大内公民館	145.0m	28
	第22地区公民館	75.5m	29
	鬼ヶ久保公民館	52.4m	30
多賀地区	十文字保育園	86.0m	31
	多賀小学校	75.0m	32
	川南P.A	81.0m	33
	野田公民館	81.0m	34
	石井川南保育園	83.0m	35
	川南別館	64.0m	36
	川南小学校	64.0m	37
	川南中学校	65.0m	38
	川南公民館	39.7m	39
	川南農村環境改善センター	39.7m	40

避難地

避難地名	番号
川南小学校グラウンド	a
山本小学校グラウンド	b
東小学校グラウンド	c
通山小学校グラウンド	d
多賀小学校グラウンド	e
唐瀬原中学校グラウンド	f
国光原中学校グラウンド	g
川南町運動公園	h
山本農村公園	i
十文字農村公園	j
東地区運動公園	k
通山農村公園	l

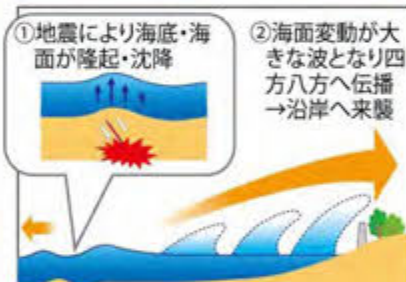
緊急連絡先

緊急連絡先	電話番号	番号
川南町役場	27-8001	A
東児湯消防組合	22-1360	B
東児湯消防組合 川南分遣所	27-0578	C
高鍋警察署	22-0110	D
高鍋警察署 川南交番	27-0335	E
児湯森林振興局	22-1362	F
高鍋土木事務所	23-0001	G
九州電力 高鍋営業所	0120-986703	H
警察(事件事故の急報)	110	I
消防救急(火事・救助・救急車)	119	J
海上保安庁	118	K
NTT西日本(問合せ)	116	L
災害伝言ダイヤル	171	M



津波対策

津波の発生



地震が発生したら、テレビやラジオ等をおして津波情報入手することが大切です。津波情報には、常に注意しましょう。

津波の速さ



津波は、海が深いほど早く伝わる性質があり、沖合いではジェット機に匹敵する速さで伝わります。逆に、水深が浅くなるほど速度がおそくなるため、津波が陸地に近づくと、後から来る波が前の津波に追いつき、波高が高くなります。

津波情報に注意する



地震が発生したら、テレビやラジオ等をおして津波情報入手することが大切です。津波の到達時間が満潮時に重なった場合は、発表値より高くなる場合もあります。

安全な場所に避難する



津波警報等が発令された場合や強い揺れを感じた場合は、海岸沿いから速やかに高台に避難しましょう。また、津波は第1波より第2波、第3波の方が高くなることもあります。津波は繰り返すので、警報、注意解除までは気をゆるめないようにしましょう。

いざという時のために、覚えておきましょう。

